

ご使用の前に必ずお読みください。

マイティア[®] アルピタット EXα7 シリーズ

アレルギー専用眼科薬

税 控除 対象

第2類医薬品

目のかゆみ・異物感(コロコロする感じ)・充血に



マイティアアルピタットEXα7

マイティアアルピタットEXα7

1. 症状をお確かめください。

本製品は、「花粉、ハウスダスト（室内塵）などによる次のような目のアレルギー症状の緩和：目の充血、目のかゆみ、目のかすみ（目やにの多いときなど）、なみだ目、異物感（コロコロする感じ）」に効果を発揮するアレルギー専用眼科薬です。

【充血やかゆみ、かすみなどはさまざまな原因で起こりますが、本製品はアレルギーによるこれらの症状に効果を発揮する目薬です。】

2. 用法・用量をお守りください。

1回1～2滴、1日4回点眼してください。

3. してはいけないこと

1. 次の人は使用しないでください。

(1) 7歳未満の小児。

【7歳未満の小児の使用に関する安全性が確立しておりませんので、7歳未満の小児には使用しないでください。】

(2) 妊婦または妊娠していると思われる人。

【妊娠中の投与に関する安全性が確立しておりませんので、妊婦または妊娠していると思われる人は使用しないでください。】

(3) 授乳中の人。

【授乳中の投与に関する安全性が確立しておりませんので、授乳中の人には使用しないでください。】

2. 点鼻薬と併用する場合には、乗物または機械類の運転操作をしないでください。

【眠気があらわれることがあります。】

4. 相談すること-1

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください。

(1) 医師の治療を受けている人。

【医師から処方されている薬に影響したり、本製品と同じ成分の薬を使用している可能性もあります。】

(2) 減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人。

【本製品と同じ成分の薬を使用していたり、治療に影響がある可能性があります。】

<減感作療法：アレルギー症状を起こす原因物質（花粉症の場合はスギ花粉など）の抽出物を少しずつ長期間にわたって投与し、原因物質に対して体を徐々に慣れさせて、過敏症が起こらないようにする治療法。>

(3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

【過去に薬により発疹・発赤、かゆみなどのアレルギー症状を経験したことのある人は、アレルギーを起こした時に使用していた薬あるいはその類似の薬の使用によりアレルギーを起こす可能性があり、使用にあたり注意が必要です。】

(4) 次の症状のある人。
はげしい目の痛み

【目の痛みの激しい時には、急性緑内障、角膜潰瘍、外傷等の場合があります。これらは、医師による適切な処置を受ける必要があります。】

(5) 次の診断を受けた人。
緑内障

【緑内障によって目のかすみがあられることがあります。本製品を使用しても緑内障の治療効果はありません。緑内障は、医師による適切な治療を受ける必要があります。】

(6) アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしない人。

とくに次のような場合はアレルギーによるものとは断定できないため、使用前に医師にご相談ください。

- 片方の目だけに症状がある場合
- 目の症状のみで、鼻には症状がみられない場合
- 視力にも影響がある場合

【アレルギー以外の原因による症状に漫然と使用すると、適切な治療が開始できないため、治療が遅れるおそれがあります。】

4. 相談すること-2

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、箱に同封されている説明文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
目	充血、かゆみ、はれ（目のまわりを含む）、刺激感、痛み、異物感、なみだ目、目やに
その他	息苦しさ

【本製品の使用により、人によってはこれらの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は使用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者に相談してその指示を受ける必要があります。】

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
アナフィラキシー	使用後すぐに息苦しさ、浮腫（咽喉、まぶた、鼻粘膜、口唇等）、じんましん等の症状があらわれる。

【本製品の使用により、人によってはまれにこれらの症状があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は直ちに使用を中止し、医師の診療を受ける必要があります。】

3. 次の場合は直ちに使用を中止し、箱に同封されている説明文書を持って医師、薬剤師または登録販売者にご相談ください。

(1) 症状が悪化した場合

【もとの症状が悪化した場合にそのまま使用を続けるとさらに悪化することも考えられます。また、他の疾患の可能性も考えられます。】

(2) 目のかすみが改善されない場合
(緑内障等の可能性も考えられる)

【緑内障、白内障、角膜障害、網膜症や他の疾患の可能性があり、効果がみられないばかりでなく、さらに悪化することも考えられます。】

(3) 2日間使用しても症状がよくなる場合

【2日間使用しても症状がよくなる場合、他に原因があることも考えられます。症状がよくなるまま使用を続けると悪化することも考えられます。】

(4) 症状の改善がみられても、2週間を超えて使用する場合

【本製品は漫然と使用するものではありません。2週間を超えて使用する場合は、医師、薬剤師または登録販売者に相談する必要があります。】

※副作用は短期間であらわれるものばかりではなく、長時間使用した時にあらわれるものもあります。使用上の注意に記載している「皮膚：発疹・発赤 等」「目：充血、かゆみ 等」「その他：息苦しさ」等の症状がないか十分注意し、これらの症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、医師、薬剤師または登録販売者に相談するようご指導ください。

5. 用法・用量に関連する注意

1. 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。

〈7歳未満の小児には使用できません。〉

【小児の誤用を避けるため、保護者の指導監督のもとで正しく使用することが必要です。】

2. 点眼の際は容器の先を目、まぶた、まつ毛に触れさせないでください。また、混濁したものは使用しないでください。

〈容器の先に目やにやその他異物等が混入することで、薬液が汚染あるいは混濁することがあります。〉

【目やに等によって薬液が汚染されることがありますので、点眼の際は容器の先に触れないように注意することが必要です。また、混濁したものは汚染されている場合もありますので、使用しないよう注意することが必要です。】

3. コンタクトレンズを装着したまま使用しないでください（コンタクトレンズを使用している人は、一旦レンズをはずしてから点眼してください。）。

〈再度レンズを装着する場合は、5分以上たってからレンズを再装着してください。〉

【本製品に含まれる成分がコンタクトレンズにおよぼす影響は不明であり、コンタクトレンズを装着したまま点眼しないよう注意することが必要です。】

使用に際しては、箱に同封されている説明文書を必ずお読みください。
重要な注意がこの内容以外にもあります。